

# 浦安市食育推進計画





# 食育推進計画の策定にあたって

## 1 計画策定の背景と目的

食は命の源であり、私たち人間が生きていくために欠かせないものです。また、健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べることは、人に生きる喜びや楽しみを与え、健康で心豊かな暮らしの実現に大きく寄与するものです。

しかし近年、急速な経済発展に伴い生活水準が向上するとともに、生活習慣病や栄養の偏り、肥満や痩せなど栄養バランスが原因の問題や、牛海綿状脳症（BSE）問題、食品添加物、食物アレルギー、食品偽装など食の安心・安全の問題、国内で自給可能な米の消費の低下、輸入に頼っている油脂や畜産物の消費の増加、地域の気候風土と結びついた米を中心とした多様な副食からなる「日本型食生活」等の喪失など、様々な問題が生じており、その根底に「食」があると考えられます。

国においては、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に、平成 17 年 6 月に「食育基本法」を制定、平成 18 年 3 月には「食育推進基本計画」、平成 23 年 3 月には「第 2 次食育推進基本計画」、平成 28 年 3 月には「第 3 次食育推進基本計画」が策定されました。また、県においても平成 20 年 11 月には「千葉県食育推進計画」、平成 25 年 1 月には「第 2 次千葉県食育推進計画」、平成 28 年 12 月には「第 3 次千葉県食育推進計画」を策定し、食育の取組を進めています。

こうした中、浦安市においても、これまで食をテーマとした様々な取組が行われてきましたが、食育を総合的かつ計画的に推進するためには、今後も家庭、地域、教育機関、職場、関係団体、市等が協力し、食育に関する施策を展開することが重要です。

これまでの取り組みの成果と、現状や課題を踏まえ、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくため、「浦安市食育推進計画」を策定します。

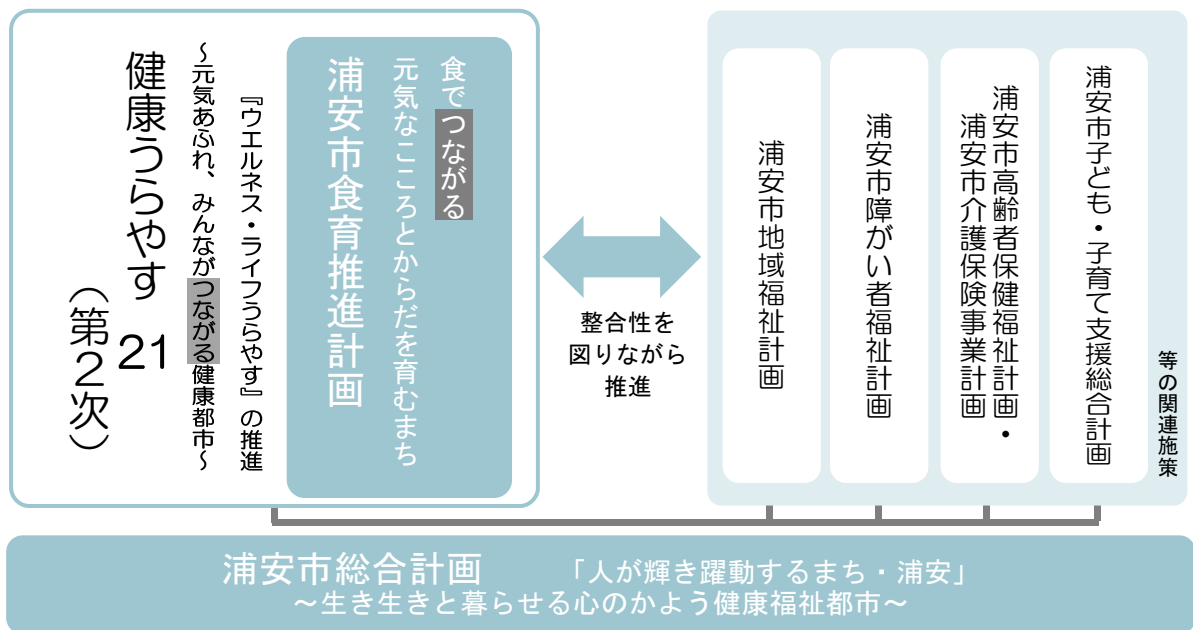
### 食育とは（食育基本法より）

- 食育は生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきもの。
- 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

## 2 計画の位置付け

本計画は、食育基本法第 18 条第 1 項に基づく市町村食育推進計画です。浦安市として食育に関する基本的な事項について定めるものであり、本市における関連計画等との整合性を図るものとします。

また、本市の「健康うらやす 21（第 2 次）」など関連計画の基本的考え方や施策の方向との整合性を図り、国の「第 3 次食育推進基本計画」と県の「第 3 次千葉県食育推進計画」を踏まえ、本市の特性に合った食育推進計画を策定します。



## 3 計画の期間

本計画は、平成 31 年度を初年度とし、平成 35 年度を目標年度とした 5 カ年の計画です。平成 35 年度の計画最終年度において計画の最終評価と見直しを行います。

## 4 計画の策定体制

本計画の策定については、商工観光課・保育幼稚園課・母子保健課・保健体育安全課・学校給食センター・健康増進課により構成された食育推進関連課において検討を行いました。

併せて、「浦安市民の健康意識に関する調査」及び「Uモニアンケート調査」のほか、パブリックコメント等を通じ、市民の要望や意見を参考にして策定しました。



# 浦安市の現状と課題

## 1 浦安市の食に関する現状

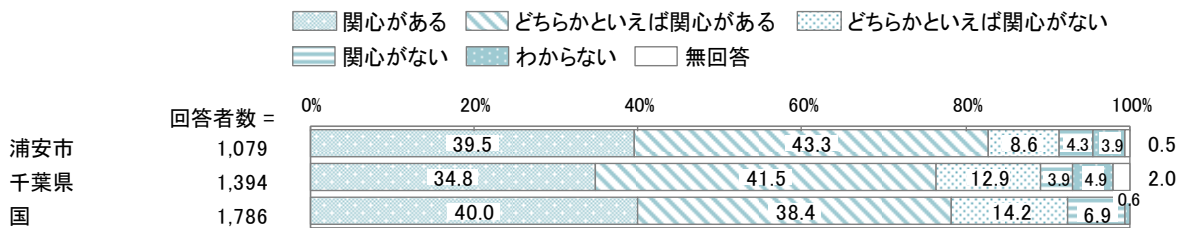
地域特性や健康状況については、『健康うらやす21（第2次）計画中間年改訂版』第2章 浦安市を取り巻く状況（P4）」を参照。

### (1) 食育への関心

#### ① 食育への関心度

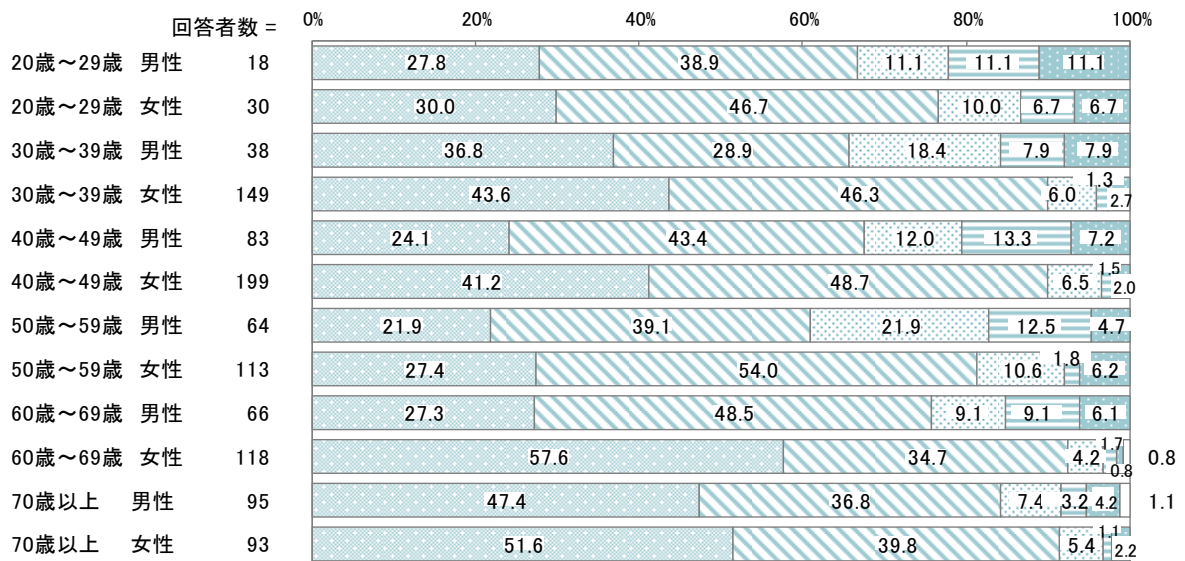
食育に関心を持っている人（「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」）の割合は82.8%と、国・県より高くなっています。

食育への関心



健康意識調査、Uモニアンケート（食育）、食育に関するアンケート  
 ※千葉県：第55回県政に関する世論調査報告（平成29年度）  
 国：食育に関する意識調査（平成30年3月）（以下同様）

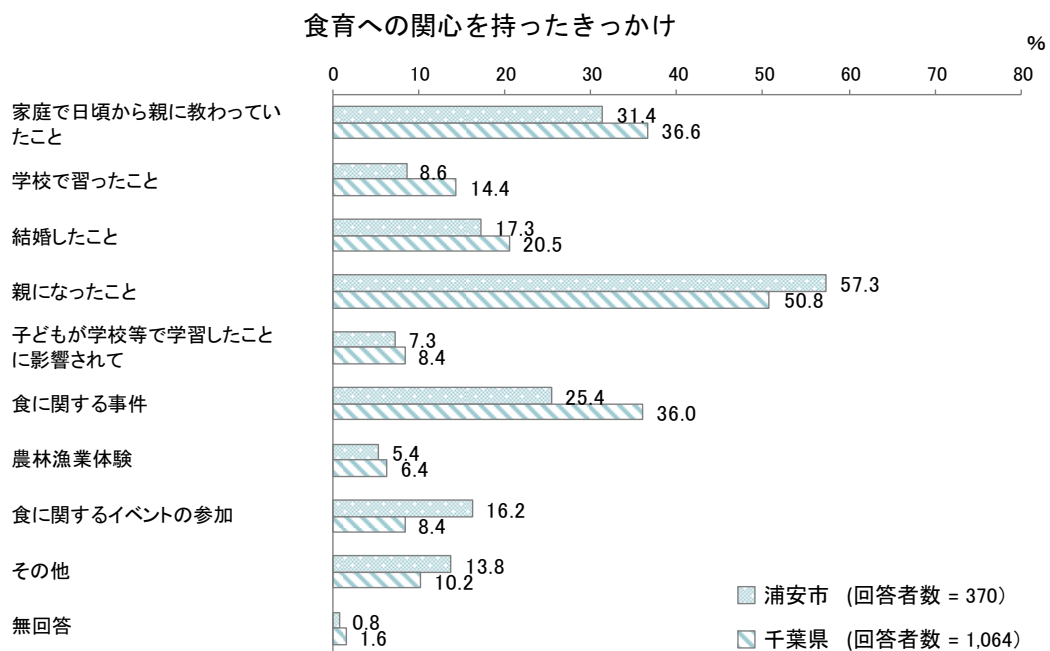
食育への関心度は、20～50歳代男性において低くなっています。



健康意識調査、Uモニアンケート（食育）、食育に関するアンケート

## ② 関心をもったきっかけ

県よりも「親になったこと」「イベントの参加」で食育に関心を持つ人が多くなっています。



Uモニアンケート（食育）、食育に関するアンケート  
 ※千葉県：第55回県政に関する世論調査報告（平成29年度）

ほとんどの世代において「親になったこと」で食育に関心を持つ人が最も多くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家庭で日頃から親に教わっていたこと	学校で習ったこと	結婚したこと	親になったこと	子どもが学校等で学習したことに影響されて	食に関する事件	農林漁業体験	食に関するイベントの参加	その他	無回答
20歳～29歳 男性	6	16.7	16.7	—	16.7	—	16.7	16.7	33.3	16.7	—
20歳～29歳 女性	6	33.3	33.3	—	33.3	—	—	16.7	—	16.7	—
30歳～39歳 男性	15	20.0	13.3	40.0	66.7	6.7	26.7	6.7	—	—	—
30歳～39歳 女性	33	33.3	6.1	9.1	72.7	9.1	24.2	9.1	12.1	3.0	—
40歳～49歳 男性	37	21.6	5.4	10.8	64.9	5.4	27.0	5.4	8.1	18.9	—
40歳～49歳 女性	79	32.9	11.4	17.7	73.4	8.9	17.7	1.3	10.1	6.3	—
50歳～59歳 男性	27	14.8	11.1	11.1	59.3	18.5	22.2	3.7	14.8	18.5	—
50歳～59歳 女性	37	21.6	16.2	18.9	54.1	13.5	35.1	5.4	16.2	16.2	2.7
60歳～69歳 男性	24	45.8	4.2	20.8	33.3	12.5	25.0	8.3	8.3	25.0	—
60歳～69歳 女性	39	38.5	5.1	25.6	64.1	—	25.6	2.6	41.0	15.4	—
70歳以上 男性	40	37.5	—	15.0	32.5	—	35.0	10.0	10.0	30.0	—
70歳以上 女性	23	39.1	8.7	13.0	34.8	4.3	26.1	4.3	34.8	4.3	8.7

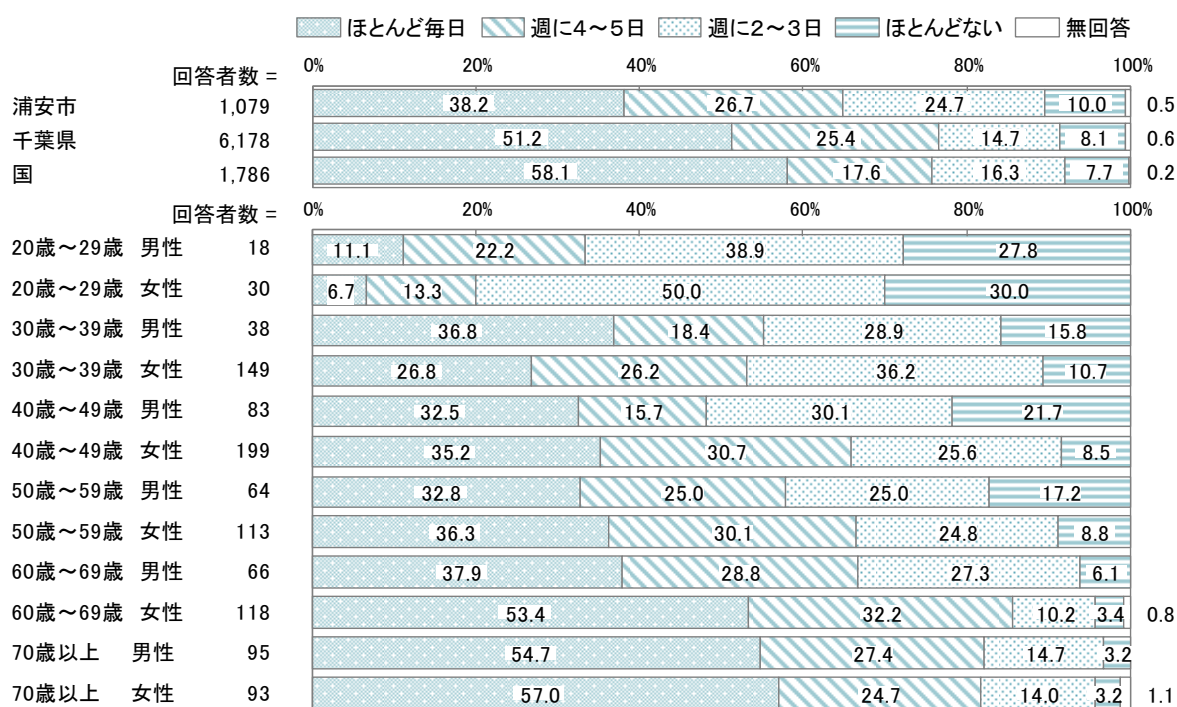
Uモニアンケート（食育）、食育に関するアンケート

## (2) 健全な食生活の実践

### ① 栄養バランス

主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べることが1日に2回以上あるのがほとんど毎日の人の割合は、38.2%と、国・県と比べてとても低くなっており、特に20歳代で低くなっています。

1日に2回以上主食・主菜・副菜をそろえて食べる頻度

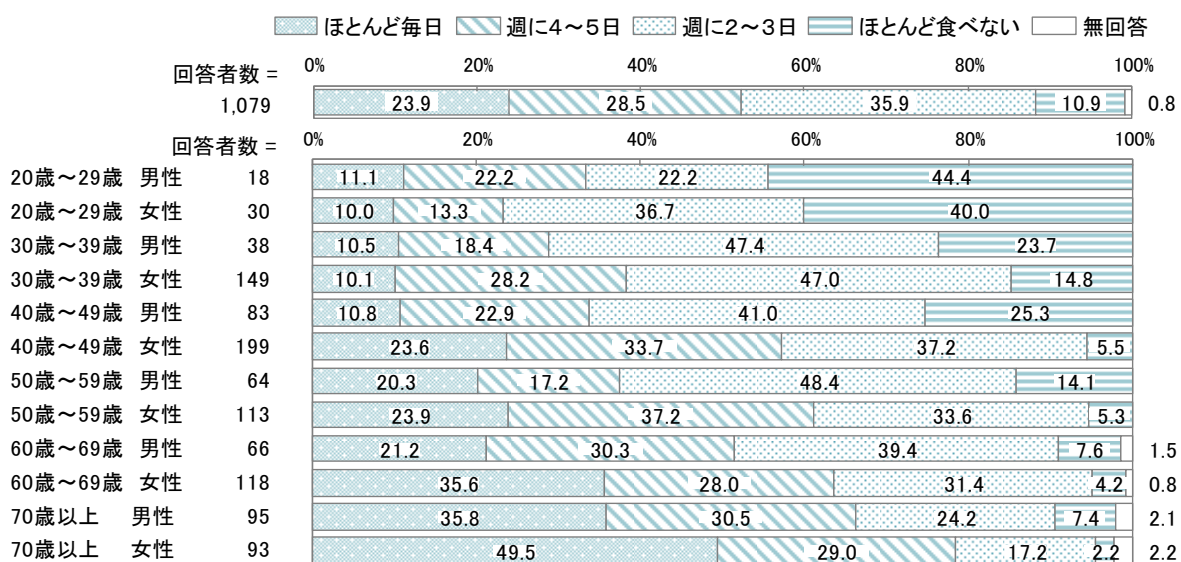


健康意識調査、Uモニアンケート（食育）、食育に関するアンケート  
 ※千葉県：平成29年度生活習慣に関するアンケート調査結果

### ② 野菜摂取状況

健康維持に必要な野菜量（350g以上/日）をほとんど毎日摂取している人の割合は、23.9%となっており、特に20~30歳代、40歳代男性で低くなっています。

健康維持に必要な野菜量（350g以上/日）の摂取頻度

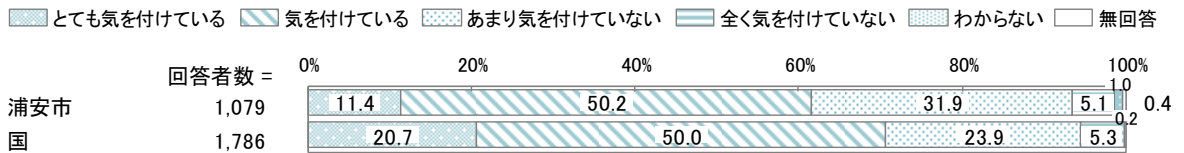


健康意識調査、Uモニアンケート（食育）、食育に関するアンケート

### ③ 減塩への配慮

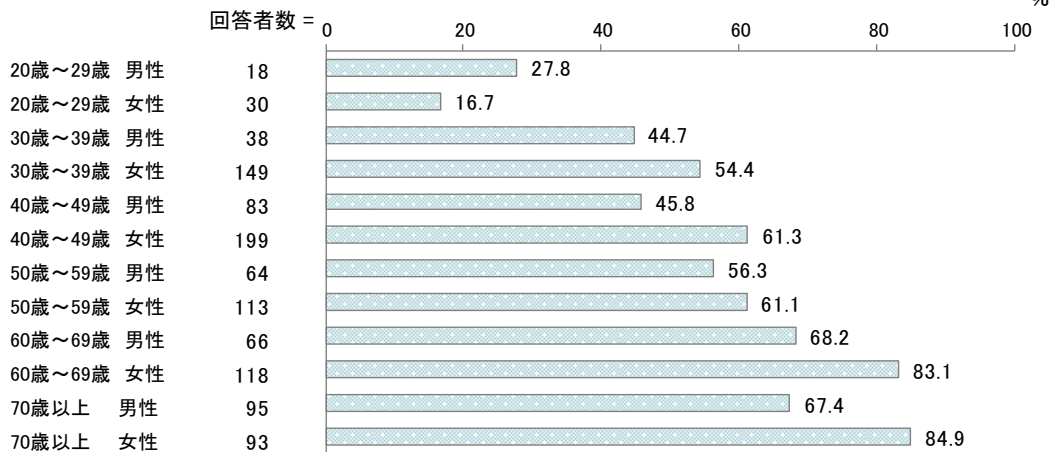
減塩に気を付けている人（「とても気を付けている」+「気を付けている」）の割合は、61.6%となっており、特に20歳代男女、30～40歳代男性で低くなっています。

減塩への配慮



健康意識調査、Uモニアンケート（食育）、食育に関するアンケート

### 減塩に気を付けている（「とても気を付けている」+「気を付けている」）と回答した割合

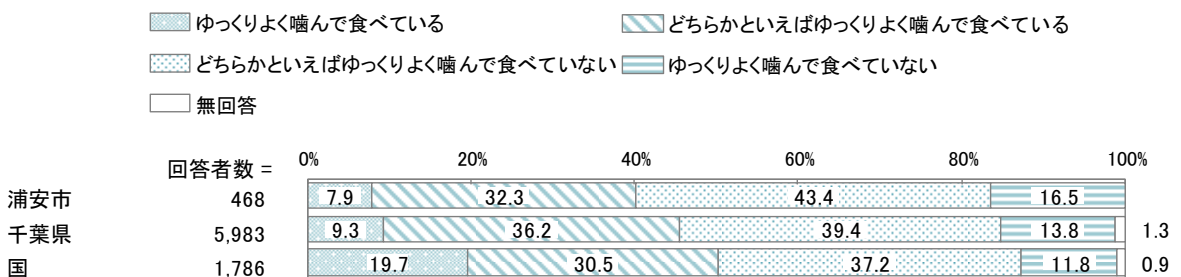


健康意識調査、Uモニアンケート（食育）、食育に関するアンケート

### ④ ゆっくりよく噛んで食べること

ゆっくりよく噛んで食べる人（「ゆっくりよく噛んで食べている」+「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」）の割合は、40.2%となっています。

ゆっくりよく噛んで食べること



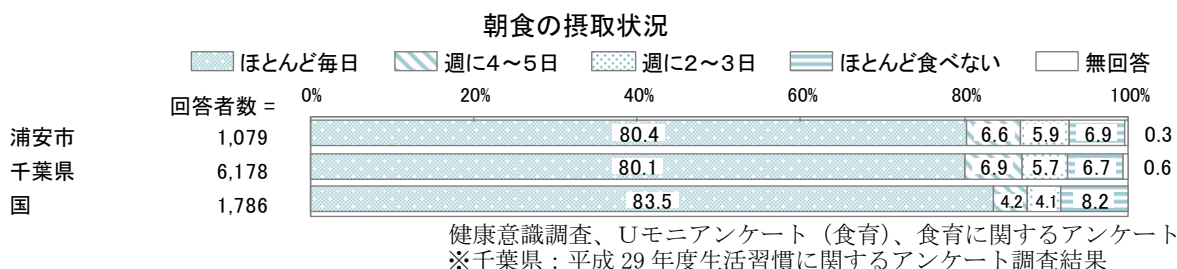
Uモニアンケート（食育）、食育に関するアンケート  
※千葉県：平成29年度生活習慣に関するアンケート調査結果



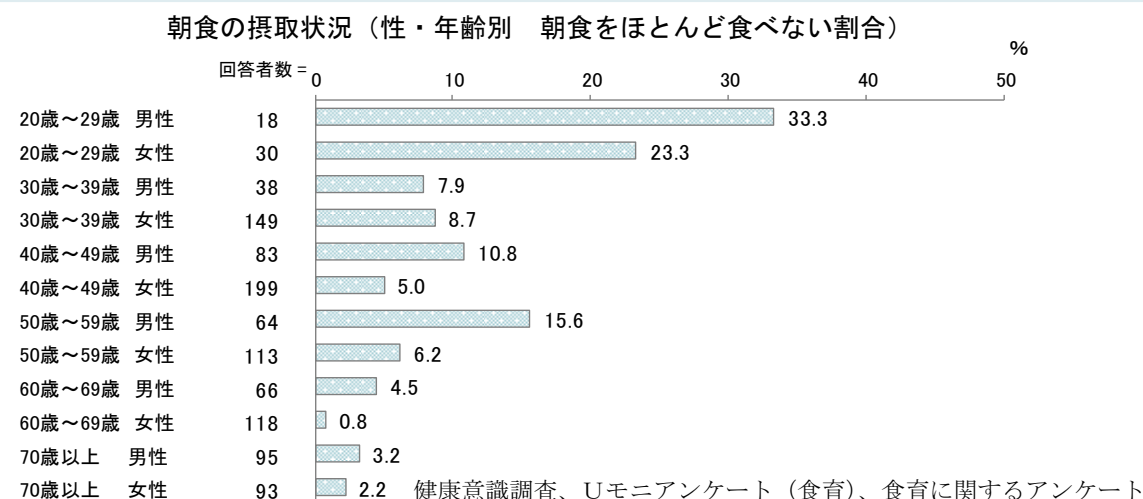
### (3) 食生活リズムの乱れ

#### ① 朝食の欠食状況

朝食を欠食する人（「週に2～3日」+「ほとんど食べない」）の割合は、12.8%となっています。



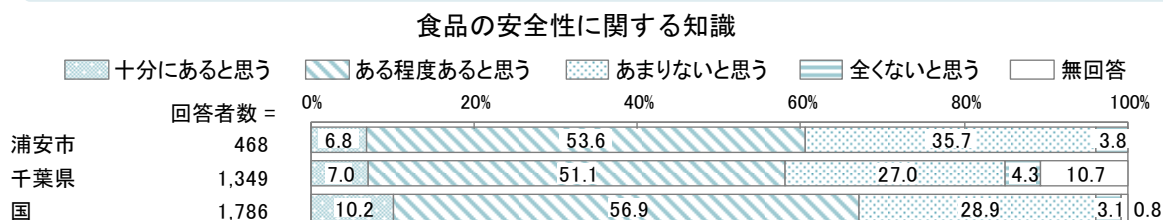
朝食をほとんど食べない人の割合は、20歳代男女・50歳代男性において高くなっています。



### (4) 食の安全性に関する知識の不足

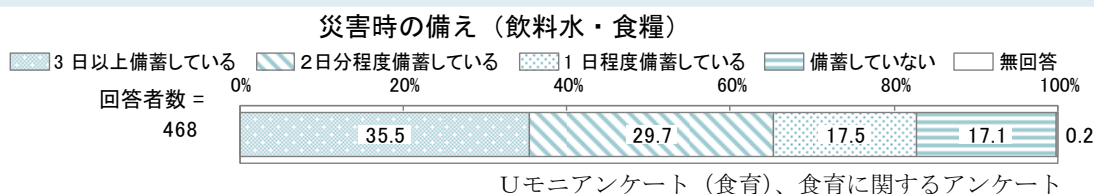
#### ① 食の安全性

食品の安全性に関する知識があると思う人（「十分にあると思う」+「ある程度あると思う」）の割合は、60.4%となっています。



#### ② 災害時の備え

災害時の食糧の備えを、3日以上備蓄している人の割合は35.5%となっています。

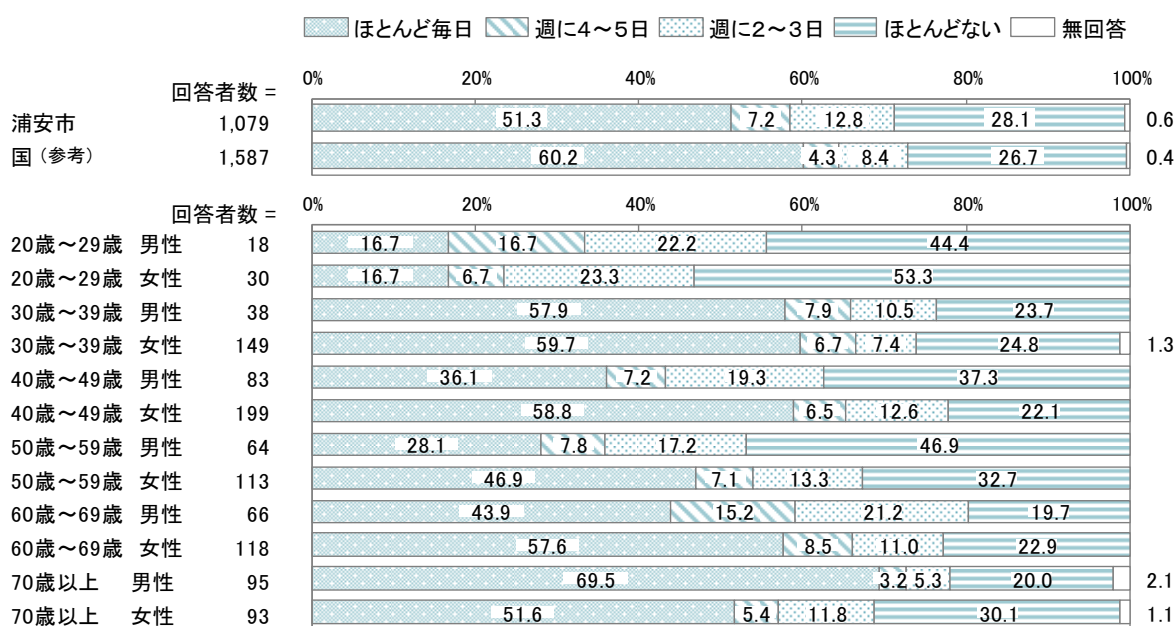


## (5) 食の大切さに対する意識の希薄化

### ① 共食の状況

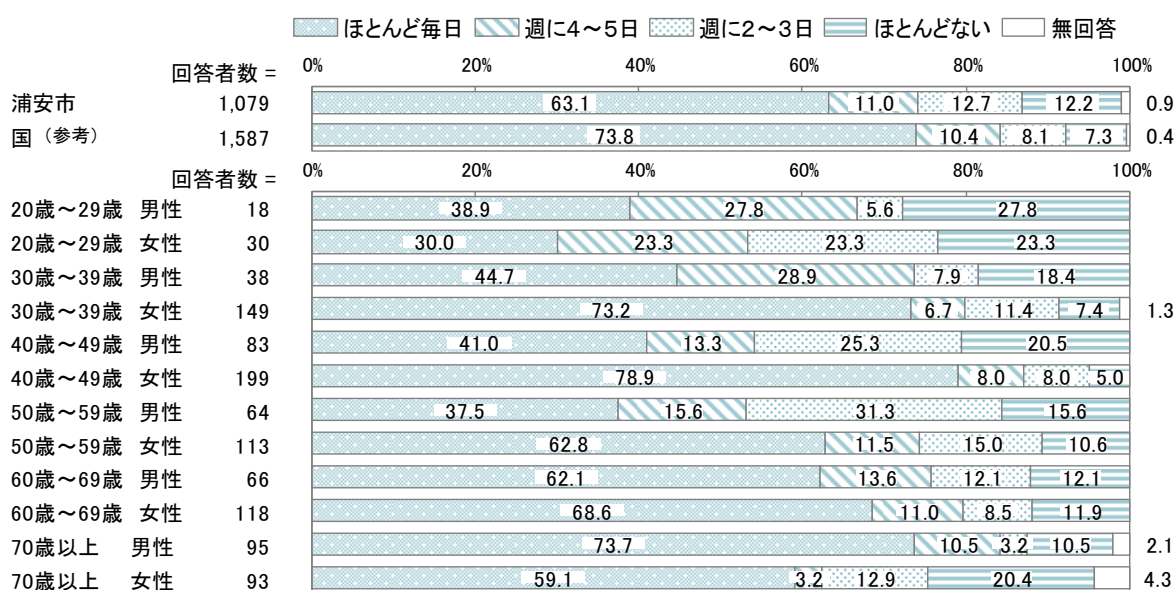
食事をほとんど一人で食べる人の割合は、朝食で28.1%、夕食で12.2%となっており、夕食においては特に20歳代男女と70歳以上女性で高くなっています。

#### 食事を誰かと一緒に食べる頻度 <朝食>



健康意識調査、Uモニアンケート(食育)、食育に関するアンケート

#### 食事を誰かと一緒に食べる頻度 <夕食>

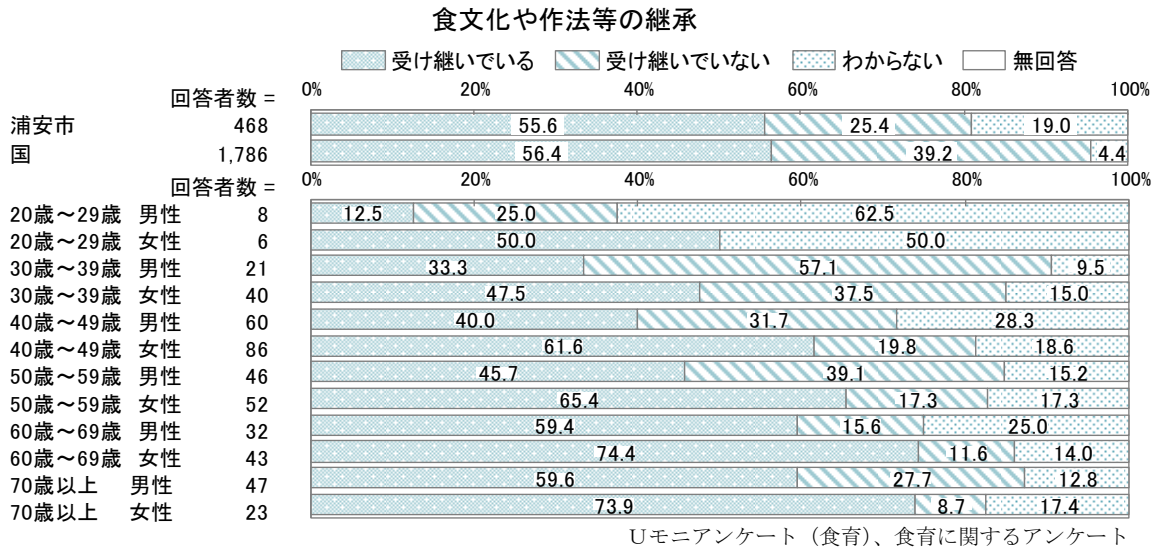


健康意識調査、Uモニアンケート(食育)、食育に関するアンケート

※国では「食事を家族と一緒に食べる頻度」のため、参考としています。

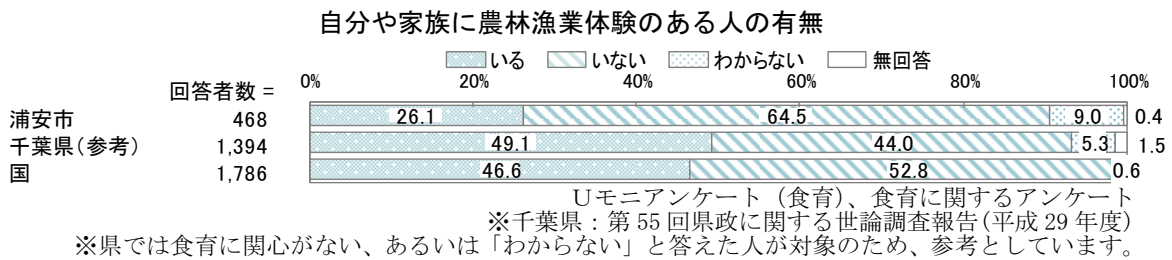
## ② 食文化

食文化を継承している人の割合は、55.6%となっており、若い世代では男性で低くなっています。



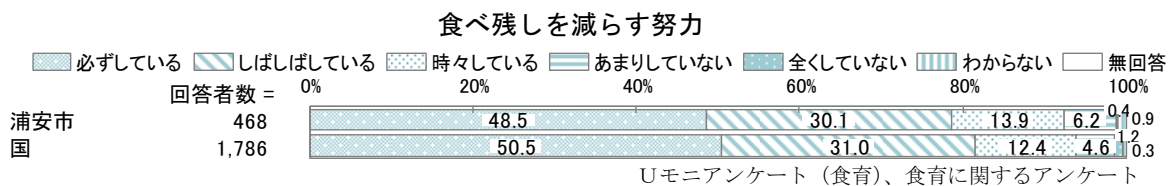
## ③ 農林漁業体験のある人の割合

自分や家族に農林漁業体験のある人の割合は、26.1%と、国・県と比べてとても低くなっています。



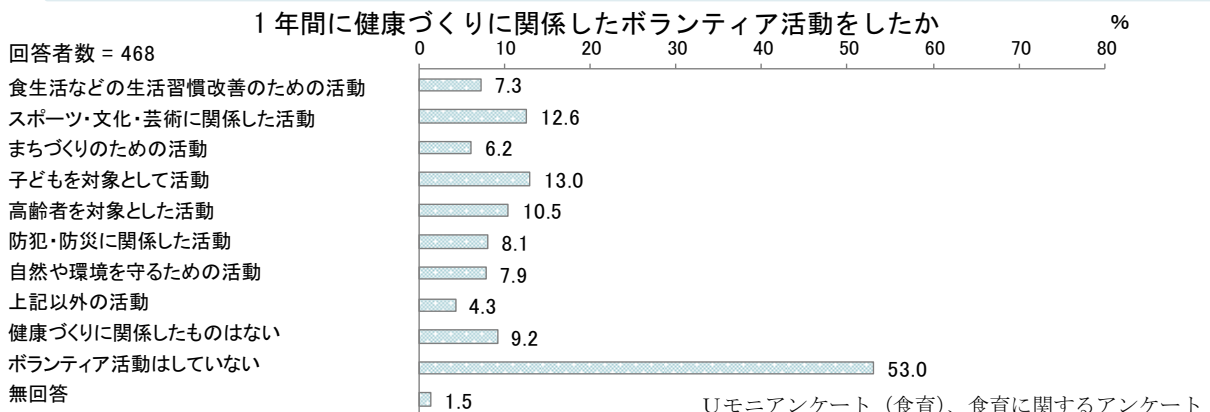
## ④ 食品ロス

食べ残しを減らす努力をしている人（「必ずしている」+「しばしばしている」+「時々している」）の割合は、92.5%となっています。



## (6) 食に関するネットワークの構築

この1年間に健康づくりに関係したボランティア活動をしたことがない割合が53.0%となっています。



## 2 浦安市の食に関する課題

より多くの方が食育に関心を持ち、健全な食生活についての知識を習得して実践することが必要です。

食育について関心のある人が多い一方で、健全な食生活を実践できている人は少なくなっています。特にバランスの良い食事を実践できている人が少なく、若い世代では朝食の欠食や野菜摂取量が少ない、減塩に配慮していないなどの傾向が目立ちます。

生活習慣病の発症予防のほか、生活の質の向上などの観点からも、若い世代から適切な食習慣を身に付けることは重要です。

また、食の安全に関する知識を身に付けている人をさらに増やし、被災地にもなった教訓を活かして災害時の食に関する対応を強化する必要があります。

→基本目標1

一緒に食事をする機会や、様々な食の体験をすることで食を大切にする機会をつくる必要があります。

誰かと一緒に食事をする「共食」の頻度が少ない傾向があります。家族や友人などと、会話を楽しみながらの食事は、食の楽しさを実感するだけでなく、食事のマナーやあいさつの習慣など、食や生活に関する基礎の習得にもつながります。そのため、家族や友人等とともに食事づくりや食事をとることでコミュニケーションを図り、豊かな心が育まれるよう、共食ができる環境を整えていく必要があります。

また、浦安市では生産農地がないためか、農林漁業体験をしたことがある人がとても少ない状況です。しかし、体験により食への感謝の気持ち、食べ物を大切にする心が育まれます。食生活は自然の恩恵の上に成り立ち、食に関わる人々の様々な活動によって支えられていることについて、行政・関係機関・各種団体が、さまざまな機会を通じて啓発していくことが必要です。

→基本目標2

食育を地域全体に広げるために、各関係機関が連携して取り組むことが必要です。

食育に直接関係していなくても、健康づくりに関係したボランティア活動をしている方が多くいます。より多くの方が食育を実践できるよう、市民とともに食育の輪を広げ、地域における食育活動を推進していくことや、地域における食育活動のネットワークを充実する必要があります。

→基本目標3



## 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

浦安市の現状や課題を踏まえ、食育の目指す姿を以下の通り示します。

#### 基本理念

## 「食でつながる 元気なところとからだを育むまち」

生涯にわたり健康で心身ともに豊かな生活を送るためには、「食」について正しい知識を身に付け、それを実践することが「元気なからだ」を育みます。また、普段から「食」を楽しみ、様々な体験をすることで「元気なところ」を育みます。そのような食育の取り組みを市全体で推進するために、各関係機関が「食」でつながり、食育の輪を広げていきます。

### 2 基本目標

本計画では、以下の3つの基本目標を定めて食育を推進して行きます。

#### (1) 健全な食生活を送ろう

生まれる前から高齢期まで、各ライフステージに応じて望ましい食生活の実践を促進するとともに、生涯にわたる健康を保持・増進するために健康寿命の延伸につながる食育を進めます。

#### (2) 食を楽しみ大切にしよう

家族や友人と食事をとることは、豊かな心を育むことにつながります。食を通じたコミュニケーションを推進するとともに、食に関する体験活動の充実を図り、食に対する理解の促進や感謝の心の育成を図ります。

#### (3) 食でつながろう

すべての人が食育を実践できるよう、地域における食育の取り組みの輪を広げることで食育が行き届くよう努めるとともに、食育を推進する人材の育成を図ります。

### 3 計画の体系

◎=重点課題

基本理念	基本目標	方針	施策		
食でつながる 元気なこころとからだを育むまち	健全な食生活を送ろう	健康	◎栄養バランスのよい食生活を育む	栄養バランスのよい食事	
			食生活のリズムを育む	朝食の大切さの普及啓発 生活習慣病の発症予防や重症化予防のための取組 歯科口腔保健の推進	
		食の安全	食に関する正しい情報を選択する力を育む	正しい情報の普及啓発	
			災害時の食に役立つ活動を育む	災害時の食支援	
		食を楽しむ大切にしよう	共食・食文化	◎家族や友人と食事を共にし、豊かな心を育む	共食の機会の提供 食事マナーの習得の推進 調理機会の充実
				食文化を伝承する活動を育む	行事食の提供 行事食を伝承する機会の推進
	体験・食品ロス		◎食に対する感謝の心を育む	豊かな食体験、学習の充実	
			食資源を大切にすることを育む	生産者との交流の促進 環境に配慮した取り組みの推進	
	食でつながろう		食環境	◎食のネットワークを育む	市民や関係機関・団体の協働による食育の推進
				企業・団体と連携した活動を育む	食品関連事業者による食環境整備
		情報発信、人材を育む		情報発信の充実 食育推進の担い手の育成、支援	

取組	担当課
食と健康を考える事業	健康増進課
健康推進員育成事業	健康増進課
特定健康診査・特定保健指導 糖尿病性腎症重症化予防	国保年金課
男性のためのクッキングひろば 口福ひろば	高齢者包括支援課
1歳児むし歯予防びっぴー教室	母子保健課
歯周病予防改善レッスン	健康増進課
ウェルカムベイビークラス 離乳食クラス	母子保健課
給食センター見学会 給食試食会 栄養士・調理師による学校訪問 食育の推進	学校給食センター
食と健康	保育幼稚園課
消費生活啓発事業	消費生活センター
アレルギー相談 食物アレルギー対応食説明会	学校給食センター
給食食材の放射性物質検査の実施と公表	学校給食センター・保育幼稚園課
災害対策事業（防災備蓄品購入、防災訓練事業）	防災課
各小学校地区児童育成クラブ運営事業 ジュニアリーダー研修会 青少年リーダー養成事業	青少年課
健康推進員育成事業	健康増進課
夏休み親子料理教室	消費生活センター
調理講座 子ども会「収穫祭」	青少年課
料理と食	保育幼稚園課
講座の開催	各公民館
食と文化	保育幼稚園課
学校給食における行事食・季節の献立	学校給食センター
浦安ガイドマップの発行 地域ブランド活性化事業（市民まつりなど）	商工観光課
かまどの日 郷土歴史学習・体験学習機会	郷土博物館
調理講座	青少年課
講座の開催	各公民館
稚貝放流及び東京湾洋上散策	商工観光課
いのちの育ちと食	保育幼稚園課
植木まつり（みどりのカーテン種まき体験） 弁天ふれあいの森公園（お米作りにチャレンジ） みどりの協働事業オープン講座2018 みどりのネットワーク事業	みどり公園課
浦安市青少年相談員連絡協議会自然体験教室 浦安市子ども会育成連絡協議会体験学習	青少年課
都市交流（酒々井町）	商工観光課
4Rの推進 マイバッグ利用推進 エコショップ認定制度 食品ロスの削減 ごみ減量推進啓発事業 3010運動の推進	ごみゼロ課
食と人間関係	保育幼稚園課
給食サービス事業	高齢者福祉課
地域包括ケアシステム推進イベント	高齢者包括支援課
sora-cafe（市役所食堂）	障がい事業課
食と健康を考える事業	健康増進課
イオン包括連携協定 大塚製薬包括連携協定	協働推進課
行政情報局「こちら浦安情報局」 広報うらやす 市ホームページ「フォトレポート」	広聴広報課
健康推進員事業	健康増進課
ペイシニア浦安女性部会料理教室	高齢者福祉課
市民活動団体の支援	協働推進課
介護予防推進協働事業（浦安介護予防アカデミア）	高齢者包括支援課

## 4 数値目標

基本目標	指標一覧		対象	現状値 平成30年度	目標
健全な食生活を送ろう	1	食育に関心のある人	全体	82.8%	増加
	2	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほとんど毎日食べている人	若い世代 (20~30歳代)	24.6%	増加
			全体	38.2%	増加
	3	朝食を欠食する人	小学生	2.8%	減少
			中学生	7.1%	減少
			若い世代 (20~30歳代)	19.9%	減少
			全体	12.8%	減少
	4	減塩に気をつけている人	全体	61.6%	増加
5	健康維持に必要な野菜量をほとんど毎日摂取している人	全体	23.9%	増加	
6	食品の安全性について基礎的な知識を身に付けている人	全体	60.4%	増加	
7	災害時の食糧の備えを3日以上備蓄している人	全体	35.5%	増加	
食を楽しむ大切にしよう	8	食事をほとんど一人で食べる人	朝食	28.1%	減少
			夕食	12.2%	減少
	9	農林漁業体験のある人	全体	26.1%	増加
	10	子どもとの関わりの中で、ものづくりや自然体験の機会をつくることを心がけている人	小学生保護者	68.7%	増加
中学生保護者			40.6%	増加	
食でつながろう	11	食育の推進に関わるボランティアの人数の増加	全体	21人	増加

- 【出典】 1～5、8 「H30 食生活アンケート調査」(健康意識調査、Uモニアンケート(食育)、食育に関するアンケート)  
 3 (小・中学生) 「H30 浦安市小・中学生生活実態調査」  
 6、7、9 「Uモニアンケート(食育)」、「食育に関するアンケート」  
 10 「H29 保護者及び教員の教育に関する意識調査」  
 11 「H30 食育の推進に関わるボランティア数の調査」  
 (千葉県農林水産部より依頼あり、商工観光課とりまとめ)





# 食育推進における取り組み

## 1 取り組みの内容

### (1) 健全な食生活を送ろう

#### 健康

生活習慣病の発症や重症化を予防するために、食べ物と健康の関係についての正しい知識を持つよう、啓発活動を推進します。健康や食育に関心のない人が少しでも関心をもつようなきっかけづくりを行います。

#### 【主な取り組み等】

##### ◎栄養バランスのよい食生活を育む

事業名	概要	担当課
食と健康を考える事業	教室やイベントなどを開催し、栄養・食生活に関する普及啓発を行う。	健康増進課
特定健康診査・特定保健指導	メタボリックシンドロームに起因する生活習慣病の予防・早期発見、生活習慣の見直しを図るための保健指導を行う。	国保年金課
1歳児むし歯予防びーばー教室	1歳児のう蝕予防の歯科保健、栄養に関する知識の普及を行う。	母子保健課

##### ○食生活のリズムを育む

事業名	概要	担当課
ウェルカムベイビークラス	妊娠・出産・育児に関する情報提供と保健、栄養、歯科保健指導及び支援を実施する。	母子保健課
栄養士・調理師による学校訪問	給食を作る様子を紹介したり、バランスの取れた栄養を取ることの大切さの理解を深めるためにミニ授業を開催する。	学校給食センター

#### 食の安全

食の安全性に対する意識と理解を深めるため、講座や市ホームページを通して情報提供を行います。

#### 【主な取り組み等】

##### ○食に関する正しい情報を選択する力を育む

事業名	概要	担当課
消費生活啓発事業	食品表示について消費者教育講座を開催し、食の安全のために食品表示の適正化を図る。	消費生活センター
食物アレルギー対応食説明会	食物アレルギー対応食について保護者に理解していただくため、説明会を開催する。	学校給食センター
給食食材の放射性物質検査の実施と公表	給食食材の検査を行い、ホームページ上に公表し、給食の安全・安心の確保を行う。	学校給食センター ・保育幼稚園課

##### ○災害時の食に役立つ活動を育む

事業名	概要	担当課
防災訓練事業	総合防災訓練において、市備蓄のサバイバルフーズの炊き出し体験（市職員）と試食を行う。	防災課

## (2) 食を楽しみ大切にしよう

### 共食・食文化

親子で調理体験をし、一緒に食事をする機会を提供します。家族や仲間と一緒に食事することで、コミュニケーションを図り、マナーや作法の習得、食文化を継承するよう促します。

#### 【主な取り組み等】

##### ◎家族や友人と食事を共にし、豊かな心を育む

事業名	概要	担当課
各小学校地区児童育成クラブ運営事業	放課後等の時間帯において、補食としておやつや家庭に代わる生活の場を提供する。	青少年課
夏休み親子料理教室	親子一緒に千葉県の郷土料理（太巻き寿司）を学び、親子の交流を図りながら、子どもたちから食に対する興味と「食品」そのものにも関心を持つきっかけを作る。	消費生活センター
調理講座	親子交流を目的に、簡単なお菓子作りを行う。	青少年課
料理と食	食を通して素材に目を向け、素材に関わり、素材を調理することに関心を持つ力を養う。（調理体験・野菜の皮むき、親子クッキング等）	保育幼稚園課
講座の開催	各公民館においてそれぞれテーマを設定し、調理体験を行う。（そば打ち体験、和菓子作り、男性の料理教室等）	各公民館

##### ○食文化を伝承する活動を育む

事業名	概要	担当課
食と文化	食を通じて人々が築き継承してきた様々な文化を理解し、作り出す力を養う。（行事給食・もちつき・節分等）	保育幼稚園課
学校給食における行事食・季節の献立	入学お祝い、こどもの日、七夕、お月見等、季節感あふれる行事食を提供する。	学校給食センター
浦安ガイドマップの発行	浦安ガイドマップにおいて浦安市特有のグルメや名産品を紹介する。	商工観光課
郷土歴史学習・体験学習機会	ふるさと浦安の文化や歴史を学習・体験し、郷土愛を育む。（貝むき・のりすき・ぼったら等）	郷土博物館

### 体験・食品ロス

自然の恩恵や生産者の努力を認識し、食への感謝の気持ちを育むよう、農作物の栽培等の体験活動や生産者との交流の機会を提供します。

#### 【主な取り組み等】

##### ◎食に対する感謝の心を育む

事業名	概要	担当課
いのちの育ちと食	食を通じて自らも含めたすべてのいのちを大切にする力を養う。（魚をさばく様子を見る・野菜の栽培体験・野菜の観察等）	保育幼稚園課
みどりのネットワーク事業	樹木と花の育成・生産、お米作り・観察会などの環境体験学習を通じ、市民に生涯学習、体験・環境学習のモデルとして、人材を育成し、次世代に引き継ぐ。	みどり公園課
浦安市子ども会育成連絡協議会体験学習	自然体験学習を通して、自然との触れ合いを楽しみ、集団行動における協調性を身につけ異年齢交流を深める。	青少年課
都市交流（酒々井町）	本市では生産農地がないことから、酒々井町に田んぼを借用し、春に田植え体験、秋に稲刈り体験を実施し、食物の生産体験及び地域間交流を深める。	商工観光課

##### ○食資源を大切にすることを育む

事業名	概要	担当課
食品ロスの削減	フードドライブの実施やイベント等で食品ロス削減の啓発を行う。	ごみゼロ課

### (3) 食でつながろう

#### 食環境

食育に関係する多様な関係者がそれぞれの特性を活かしながら、連携・協力するネットワークを構築していきます。

#### 【主な取り組み等】

##### ◎食のネットワークを育む

事業名	概要	担当課
食と人間関係	食を通じて他の人々と親しみ支えあうために自立心を育て、人と関わる力を養う。(買い物体験・出前おやつ等)	保育幼稚園課
給食サービス事業	食事の調理を自分で行うことが困難な方の自宅に夕食を配食し、あわせて安否確認を行う。	高齢者福祉課
地域包括ケアシステム推進イベント	地域包括ケアシステム関連団体がゆるやかにつながる機会となるよう、展示・体験ブースの実施や講師による基調講演を行う。	高齢者包括支援課
sora-café (市役所食堂)	市民、職員への飲食の提供とともに、食を通して交流の場を提供する。	障がい事業課

##### ○企業・団体と連携した活動を育む

事業名	概要	担当課
イオン包括連携協定	株式会社イオンと包括連携協定を締結し、食育の推進を協働で取り組む。	協働推進課
大塚製薬包括連携協定	株式会社大塚製薬と包括連携協定を締結し、食育の推進を協働で取り組む。	協働推進課 健康増進課

##### ○情報発信・人材を育む

事業名	概要	担当課
広報うらやす	食に関する特集記事などを組むことで、食育への認知・理解を広める。	広聴広報課
健康推進員育成事業	市民の健康づくりのため、保健師や栄養士と連携をとりながら、講座やイベント・啓発などの地域活動を行う。	健康増進課
ベイシニア浦安女性部会料理教室	孤食の予防及び食を通じたコミュニケーションを図るために、参加者同士で調理し会食することを通じて交流を深める。	高齢者福祉課
市民活動団体の支援	市民活動に関する情報の収集及び発信や相談の受付を行い、市民活動の拠点としての役割を担う。	協働推進課
介護予防推進協働事業	高齢者の低栄養予防や口腔機能向上を目的とした教室の開催及びイベント・出前講座等を通して普及活動を行う。	高齢者包括支援課

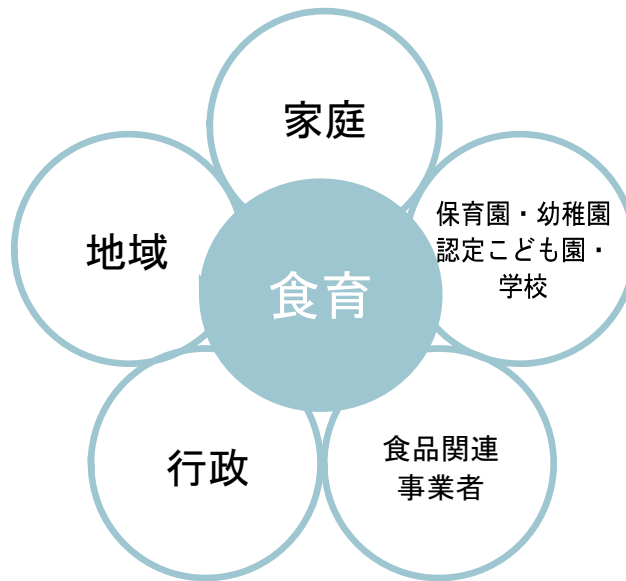


# 食育推進計画の推進

## 1 計画の推進体制

本計画では、市民・地域・関係機関・団体等と行政が、それぞれの連携の強化を図りながら、一体となって食育を推進していきます。

食育ネットワークのイメージ



主体	役割
家庭	栄養バランスのとれた食事や規則正しい生活リズムの習得など、基本的な食習慣は家庭で身に付けることから、食育を推進していくうえで家庭は重要な役割を担っています。家族そろって食卓を囲み、会話や食事を楽しみながら、食事のマナーや作法の習得、食文化を継承しましょう。
地域	地域においては、自治会や社会福祉団体、ボランティア団体、医療・介護・保健関係者など様々な団体関係者が自主的な活動をしています。今後もあらゆる機会を利用して積極的に食育を推進することが求められます。
保育園・幼稚園・認定こども園・学校	幼児期の食育は、生涯にわたってしっかり身に付けたい“食べる力”の基礎作りです。将来の丈夫なからだも、規則正しい食習慣も、味覚もすべてこの時期に基礎作りが行われます。そのため、各機関において、みんなで楽しく食べることや様々な体験を通して、食への関心を高める取り組みが求められます。
食品関連事業者	食品関連事業者は、食品を扱う事業者として、安全・安心な食品の提供に努めるとともに、健康に配慮した商品・メニューの提供や、わかりやすい食品情報を発信しましょう。
行政	行政は、本計画に基づき、食育を市民活動として推進するために必要な施策を展開する役割があります。食育推進関連課として、商工観光課・保育幼稚園課・母子保健課・保健体育安全課・学校給食センター・健康増進課が連携し、行政と市民が一体となって食育活動を推進していくため、関係機関と連携・協力し、各分野における取組を総合的かつ一体的に推進していきます。